



⑧ まくり (鍾馗^{しょうき}像)

年不詳

鍾馗は、中国で、疫病神を追いはらい魔を除くと信じられた神です。日本では、その像を、五月五日の端午の節句の幟^{のぼり}に描いたり、五月人形に作ったり、魔除けの人形にしたりすることでも知られています。また、江戸時代には疱瘡^{ほうそう}除けの神として認識され、「疱瘡^{ほうそう}絵」の題材になりました。展示した鍾馗像がどのような目的で描かれたかについては不明ですが、鍾馗を含め「疱瘡^{ほうそう}絵」は、邪気を払う朱書きで描かれることが多いとされています。

湯本正喜家文書 P8904 No.837

(吾妻郡長野原町大字大津)